

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川口市本町4丁目計画	階数	地上10F、地下0F
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	81人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2021年12月3日
敷地面積	530㎡	作成者	大豊建設株式会社 大和
建築面積	318㎡	確認日	2021年12月3日
延床面積	2,748㎡	確認者	大豊建設株式会社 大和



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (0 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 83% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 83%

④上記+: 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)

音環境	2.9
温熱環境	2.4
光・視環境	2.8
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.2)

機能性	3.6
耐用性	3.1
対応性	2.9

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.7)

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.6)

建物外皮の	4.0
自然エネ	2.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.9)

水資源	2.2
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.2)

地球温暖化	3.6
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
本建物は、川口駅に程近い場所に計画された集合住宅である。敷地内には緑地を設け、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。	0	
Q1 室内環境 ・各居室の窓は複層ガラスとし断熱効果を高めている。	Q2 サービス性能 ・劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・限られた敷地内に出る限り緑地を設け、温熱環境の向上に配慮する。
LR1 エネルギー ・共用部の照明は全てLEDを採用している。	LR2 資源・マテリアル ・ノンフロン断熱材を採用し、ODP値及びGWP値低減へ配慮する。	LR3 敷地外環境 ・広告物照明の設置はせず、光害の抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)川口市本町4丁目計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.40		-		2.9
1 音環境				3.0	0.15	2.9	1.00		2.9
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音				3.0	0.50	2.9	0.50		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能					-	2.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<住居>Lr=50			-	4.0	0.20		
1.3 吸音					-		-		
2 温熱環境				1.3	0.35	2.7	1.00		2.4
2.1 室温制御				1.7	0.50	3.3	0.50		
1 室温				1.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能		<住居>住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4相当。		3.0	0.38	4.0	0.38		
3 ゾーン別制御性					-		-		
2.2 湿度制御		<住居>除湿機能を有し、断熱補強により結露防止対策を実施。		1.0	0.20	4.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				2.5	0.25	3.0	1.00		2.8
3.1 昼光利用				1.8	0.30	2.0	0.50		
1 昼光率				1.0	0.60	1.0	0.50		
2 方位別開口					-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				1.0	0.30	4.0	0.50		
1 昼光制御		<住居>カーテン、庇(上階バルコニー)を組み合わせで制御。		1.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		<共用>センサーやタイマーによる自動照明制御。		5.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.4	0.25	4.0	1.00		3.8
4.1 発生源対策				3.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		<住居>全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用。		3.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				4.0	0.40	4.0	0.38		
1 換気量		<住居>建築基準法に対し1.2倍以上の換気量を確保。		3.0	0.50	4.0	0.33		
2 自然換気性能		<住居>居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保。			-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		<共用>各種排気口と異なる方位で6m以上離隔。		5.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理					-		-		
1 CO ₂ の監視					-		-		
2 喫煙の制御					-		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.2
1 機能性				2.4	0.40	4.0	1.00		3.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応		<住居>各居室に電話が引き込まれ、Gbitクラスの通信が利用可能。			-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40		
1 広さ感・景観		<住居>洋室の天井高:2.5m。			-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級」における等級3相当。		5.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長いビニルクロス貼りを内装材に採用。		4.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち、2種類にB以上を使用かつEは不使用。		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスはAクラス。		4.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.2	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり					2.8	0.50	
1	階高のゆとり	基準階の階高:2.91m。	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる。	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4相当。	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.90	4.0	0.50	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		杭に高炉セメントを使用している。	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材の分別が容易な計画としている。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満、GWP値=50未満の断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:83%	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場・駐車場ともに十分な台数を確保。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」の一部を満たし、広告物照明はなし。	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)川口市本町4丁目計画	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.6	+	2.6	=	6.2	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
<配慮した内容を記述> LED照明を採用し、省エネルギーへ配慮する。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 敷地内に中・高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。			

:入力欄